

# 団結こそ成功の鍵

## 持続可能な消費と生産の より広い捉え方から見た 地域協力のあり方

United we stand: regional cooperation from a wider  
perspective of sustainable consumption and production

地球環境戦略研究機関  
経済と環境グループ ディレクター  
小嶋公史

1

# より広い視点からのSCPの達成

## ➤ SCP（持続可能な消費と生産）の目的

現状の消費と生産のパターンを変化させ持続可能な開発を促進する

## ➤ 誤解

持続可能な消費 = 先進国の過剰消費を減らすこと

SCPの本質は両輪：

- 1) すべての人々の基本的ニーズを満たすための消費機会の向上
- 2) 社会、経済、環境に対する負の影響の回避

## ➤ SCP政策の成功

2つの基準：

- 1) 経済的・社会的発展と資源スループットのデカップリング  
(投入資源を少なくしたままで社会経済的発展を達成すること)
- 2) 他国の持続可能な開発への貢献

2

# 動機と目的

## 動機

- グローバルな経済においてSCPを達成するためには、地域的・国際的な協力が重要であると理解する
- SCPに関する地域的協力醸成について国際組織によるイニシアティブがあると認識する
- 地域的な視点からのSCPに関する定量的政策分析が欠けていると認識する

## 目的

IGESが実施した3つの事例研究を通し、  
アジア太平洋地域においてより広い視点から  
SCPを推進するための地域協力の潜在的な役割について明らかにする

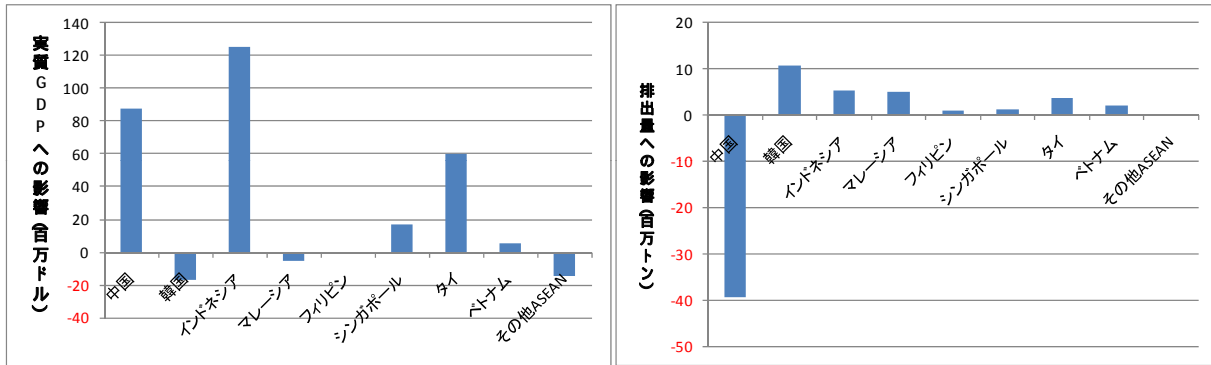
3

# 事例1：東アジアにおける 低炭素社会のための地域協力

- 日本の低炭素社会（LCS）に関するビジョン  
生活の質を落とすことなく、CO2排出量と資源スループットを大きく削減することを目指す
- 日本LCS2050プロジェクト
- **IGES研究活動：CGEを用いた日本のLCSシナリオの地域的な政策影響評価**  
目標値：1990年レベルから25%の削減  
2つのシナリオ：
  - 1) LCS-1：日本における国内炭素税（地域協力なし）
  - 2) LCS-2：ASEAN+3における地域的キャップ・アンド・トレードシステム

4

## 事例1：地域協力と政策含意の潜在的便益



- 日本一国でSCPとLCSを達成するための政策は、東アジア諸国に対して負の影響を与える可能性がある。

	実質GDP		CO <sub>2</sub> 排出量	
	(100万米ドル)	%	(100万トン)	%
LCS-1シナリオ	19,660	0.04	-742	-1.41
LCS-2シナリオ	36,612	0.07	-2,525	-4.81
差	16,952		-1,783	

- キャップ・アンド・トレードによる地域協力は、地域全体のGDPとCO<sub>2</sub>排出量の双方について潜在的な便益を同時にもたらす。

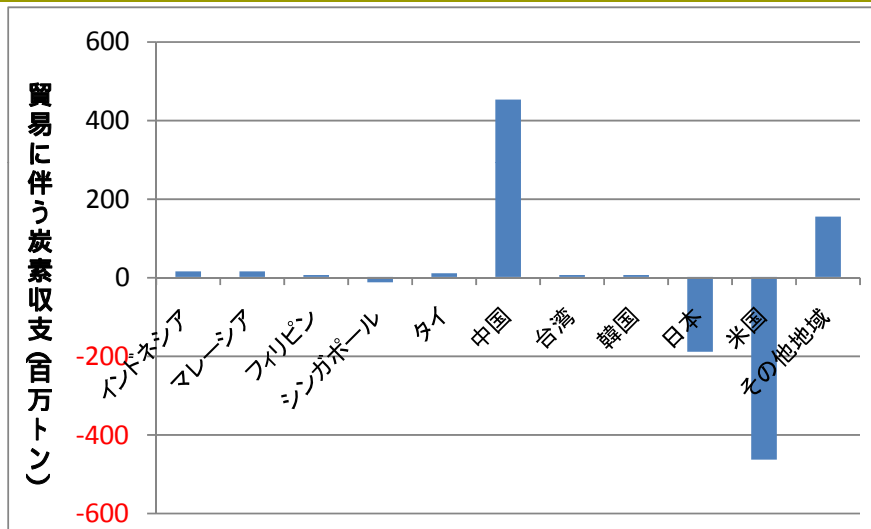
5

## 事例2：貿易に伴う排出量という指標によるグローバル・バリューチェーンの提示

- 「ライフサイクル」という考え方は、製品の製造から消費、廃棄までについて国境を越えた管理を促すという意味において、SCPを達成するために重要である
- 「貿易に伴う排出量」は貿易商品の製造から販売までの一連のプロセス（バリューチェーン）における環境効率について、主要ステークホルダー間で評価し合う効果的な指標となる
- IGESの研究活動：アジア太平洋地域の国際貿易に伴うCO<sub>2</sub>排出量とその指標の応用

6

## 事例2：貿易に伴う排出量と地域協力におけるその応用



### SCPを達成するための地域協力における取組

- 1) 正の収支は貿易に伴い炭素が「輸出」されていることを示す。
- 2) 米国や日本は輸入せずに国内生産で消費をまかなうと炭素排出量が増加する。
- 3) 生産者と消費者の排出責任分担が、全体としての排出量削減につながる可能性がある。

7

## 事例3：持続可能なエネルギー利用のための国境を越えたエネルギーインフラ整備

- 現在発展著しいアジアでは、経済発展のために大量の天然資源を投入するという負の側面や、エネルギー資源量は大きいものの電力供給インフラは未整備であるなどの課題を抱えている
- 社会経済的発展の要望を満たすためにエネルギー資源の効率的利用を実現するには、一国における自助努力だけでは不十分である
- 電力セクターをより持続可能なものへとするためには、国境を越えたエネルギーインフラプロジェクトが重要な役割を果たす

8

## 事例3：国境を越えたエネルギープロジェクトによる地域的なSCPへの便益

### 国境を越えたエネルギープロジェクトによる中国およびタイへの影響

	GDP (million USD)	CO <sub>2</sub> (million t-CO <sub>2</sub> )
China	75.9	-1.0
Thailand	45.7	-0.9

発電と送電に関する国境を越えたエネルギープロジェクトは、GDPとCO<sub>2</sub>排出量の双方について望ましい結果をもたらし、低炭素開発という点で地域的なSCPに貢献している。

9

## 結論

- 地域および国際的な協力を通じてウィン・ウィンの解決方法を模索することが、より広い視点からSCPを促進するために重要である
- 経済のグローバル化や越境環境汚染による影響など国際的な外部不経済が無視できない場合、一国によるSCPの推進は非効率的で非効果的となる可能性がある
- SCPに関する議論において生産と消費を切り離して考えることはできず、全体の中の部分として体系的に捉える必要がある
- SCPに関する効率的な協力の実施のためには、最適なレベル（例えば国際レベルや国家レベルなど）を選択することが重要である

先進国、開発途上国とも協力に対してより積極的となり、SCPに取り組むための現実的な努力をすべきである

10



---

ご清聴ありがとうございました

**IGES 経済と環境グループ**

<http://www.iges.or.jp/jp/ea/index.html>

<http://www.iges.or.jp/en/ea/index.html>